

第18回

日本骨盤臓器脱手術学会学術集会

Japanese Society of POP Surgery

その先の、
骨盤底修復手術
い塩梅へ



会期

2025年4月12日(土)～13日(日)

会場

カレス記念病院 カレスホール・会議室

北海道札幌市東区北6条東3丁目

会長

藤井 美穂

社会医療法人社団カレスサッポロ
時計台記念病院 院長 女性診療科 部長

運営事務局



時計台記念病院

〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東1丁目2-3

Email: 18jpop@tokeidaihosp.or.jp

フェミクッション誕生18周年

18th
Anniversary
2025



フェミクッションは
2008年に誕生してから、
日本だけでなく
世界各国でもご愛用いた
いております。

フェミクッション[®]

フェミクッションは骨盤臓器脱の全ての症状・全てのPOP-Qステージ、
手術前・手術後にお使いいただける治療用具です。

下着のように履くだけで、柔らかなクッションが痛みなく臓器を支え、通常の生活を送って頂けます。



ベルトレスサポーター新登場！
サポーターからベルトが取れました！
長年の患者さまからのご要望にお応えして、
ベルトレスサポーターついにリリース！

フェミクッションの姉妹品 ハピネス新登場！

尿漏れや骨盤臓器脱といった疾患を履くだけで簡単に予防することができます。



一般医療機器
類別名称：脱疾治療用具
脱疾治療用ストラップ(30883000)
届出番号：13B2X10096000001

製 造
販 売 元



株式 三井メディカルジャパン[®]
社 会 社

MITSUMI MEDICAL JAPAN

www.urogyne.jp

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-31-10

TEL:03-5319-2676 FAX:03-5319-2677

Mail:information@urogyne.jp

第18回日本骨盤臓器脱手術学会学術集会 プログラム

1日目 4月12日(土) カレス記念ホール(第1会場)

09:00 – 09:05 開会の挨拶

第18回日本骨盤臓器脱手術学会学術集会

会長 藤井美穂 (カレス記念病院 (次席) 院長)

09:05 – 09:35 理事長講演

座長：草西 洋 (明石市立市民病院 産婦人科)

TVMを道具箱に加えて、骨盤臓器脱手術をブラッシュアップしよう

竹山政美 (第一東和会病院 ウロギネセンター)

09:40 – 10:50 スポンサーシンポジウム「POPに対するvNOTES 今後の可能性」

座長：竹村昌彦 (大阪急性期・総合医療センター 産科・婦人科)

1 POP手術とvNOTES

竹村昌彦 (大阪急性期・総合医療センター 産科・婦人科)

2 vNOTESの導入

永井富裕子 (東京都立東部地域病院 婦人科)

3 POPに対する治療：NTR

梅村康太 (豊橋市民病院 産婦人科)

4 POPに対する治療：with graft

高橋顕雅 (滋賀医科大学 産婦人科)

共催：アプライドメディカルジャパン株式会社

10:55 – 12:00 一般演題1「vNOTES」

座長：高橋顕雅 (滋賀医科大学 女性診療科)

永井富裕子 (東京都立東部地域病院 産婦人科)

01-1 vNOTESの当科での試みと治療成績

永榮美香 (亀田総合病院 ウロギネ・女性排尿機能センター)

- 01-2 vNOTES を用いた腔断端挙上術 (Shull 法) の当院での初期成績
栗山萌子 (JA 三重厚生連 松阪中央総合病院 産婦人科)
- 01-3 vNOTES による native tissue repair の手技と工夫
細川奈月 (奈良県西和医療センター 産婦人科)
- 01-4 巨大充実性卵巣腫瘍併発の骨盤臓器脱に対する経腔的内視鏡手術 (vNOTES) の有用性について
尾崎理恵 (東京都立東部地域病院 婦人科)
- 01-5 vNOTES を用いた仙棘靭帯固定術の経験
永井富裕子 (東京都立東部地域病院 婦人科)
- 01-6 腔断端だけでなく前後腔壁を仙骨子宮靭帯でサポートする新たな vNOTES POP repair
Apisith Saraluck (亀田総合病院 ウロギネ・女性排尿機能センター)
- 01-7 子宮脱に対する vNOTES を用いた hysteropexy
Janice Anonuevo (亀田総合病院 ウロギネ・女性排尿機能センター)
- 01-8 TVM 術後再発例に対し、vNOTES 下 McCall 法を用いて再手術した一例
笠原太郎 (越谷市立病院 産婦人科)

12:15 – 13:15 ランチョンセミナー

座長：三輪好生 (岐阜赤十字病院 ウロギネセンター)

「ロボット仙骨腔固定術で膀胱剥離に苦労していませんか？
～我々の提唱する新技術とそのトレーニング法」
太田啓明 (川崎医科大学 産婦人科)

「仙骨腔固定術における Hoyte Sacro Tip および ALLY の使用経験」
野村昌良 (亀田総合病院 ウロギネ・女性排尿機能センター)

共催：クーパーサージカル・ジャパン株式会社

13:20 – 13:50 総会

13:55 – 14:55 アフタヌーンセミナー「ロボット支援下仙骨腔固定術の導入から応用まで」

座長：齋藤裕司（北海道医療センター 産婦人科）

「Initiation Independence」

仲澤美善（NTT 東日本札幌病院 産婦人科）

「Trouble・Technic・Training」

谷村 悟（富山県立中央病院 産婦人科）

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

15:00 – 16:15 学会シンポジウム 1「膀胱全摘後の骨盤底修復」

座長：齋藤 豪（札幌医科大学医学部 産婦人科学講座）

平川和志（カレス記念病院 泌尿器科）

S1-1 「膀胱全摘後の骨盤底再建法」女性膀胱全摘術における小腸瘤予防
～温故知新～

荒木英盛（名鉄病院 泌尿器科）

S1-2 膀胱全摘除術後の骨盤内癒着対策としてスプレー式癒着防止材は有効か
西村謙一（愛媛大学 泌尿器科）

S1-3 膀胱癌根治性と骨盤底機能温存のいい塩梅を探る

新村友季子（医療法人真栄会 にいむら病院 泌尿器科）

S1-4 ロボット支援下根治的膀胱全摘除術後の前方小腸瘤を予防するための
骨盤底再建方法について

岡添 誉（香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科）

S1-5 ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術（RARC）後の前方小腸瘤に対する当院の治療
本郷祥子（大阪けいさつ病院 ウロギネセンター）

S1-6 膀胱全摘後の前方小腸瘤に対する Martius flap 併用経膈メッシュ手術
（サンドイッチ法）について

嘉村康邦（昭和大学横浜市北部病院 女性骨盤底センター）

16:20 – 17:00 イブニングセミナー「進行・再発子宮体癌の手術・薬物療法」

座長：齋藤 豪（札幌医科大学医学部 産婦人科学講座）

「ICI時代の幕開けで変わる子宮体癌1次治療」

松浦基樹（札幌医科大学医学部 産婦人科学講座）

共催：アストラゼネカ株式会社

17:10 – 18:30 インターナショナルセッション

座長：野村昌良（亀田総合病院 ウロギネ・女性排尿機能センター）

小玉美智子（大阪大学 大学院医学系研究科 産科学婦人科学講座）

① Colpocleisis: Not Just for the Frail

Momoe Hyakutake (Division of Urogynecol., Dept. of Obstet. and Gynecol., Royal Alexander Hospital)

② The Role of Minimally Invasive Surgery for Pelvic Organ Prolapse

Eugene Huang Youjin (KK Women's and Children's Hospital)

③ Differences Between Anal Prolapse and Rectal Prolapse: Treatment and Management

Tzong-Yun Tsai (Dept. of Colorectal surgery, Chang Gung Memorial Hospital)

19:00 ~ 懇親会

1日目 4月12日(土) 会議室(第2会場)

09:40 - 10:55 一般演題 2「教育」

座長：古山将康（石切生喜病院 産婦人科）
嘉村康邦（昭和大学横浜市北部病院 女性骨盤底センター）

- O2-1 タブレットを用いた QOL 質問票調査デジタル化の試み
平間裕美（KKR 高松病院 泌尿器科）
- O2-2 腹腔鏡下仙骨腔固定術における下腹神経の認識
平田 豪（横浜市立大学附属市民総合医療センター 婦人科）
- O2-3 骨盤臓器脱手術から学ぶ骨盤内神経生理について
西村和朗（産業医科大学 産科婦人科学・産業医科大学 第1生理学）
- O2-4 腹腔鏡下仙骨腔固定術におけるメッシュ固定強度は組織焼灼の影響を受けるか？
～豚、鳥組織を用いたメッシュ牽引実験～
平田 豪（横浜市立大学附属市民総合医療センター 婦人科）
- O2-5 チームで行う LSC —私の修練から初執刀まで—
渡邊沙耶（練馬総合病院 産婦人科）
- O2-6 腹腔鏡下仙骨腔固定術における手術振り返りシステムの構築
～手術手技ごとの所要時間を計ることで見える目標
笹川 輔（新潟大学医学部 産科婦人科学教室）
- O2-7 ロボット支援腹腔鏡下仙骨腔固定術において感じないはずの触覚を
どのようにして感じ、手術に生かすか
野村昌良（亀田総合病院 ウロギネ・女性排尿機能センター）
- O2-8 骨盤臓器脱手術が骨格筋量・筋力および運動機能に与える影響
金城真実（杏林大学医学部 泌尿器科）
- O2-9 ホログラムマーカーを用いた複合現実（MR）支援による経腔的子宮仙棘靭帯固定術
藤崎章子（四谷メディカルキューブ 女性泌尿器科）

11:00 – 12:00 一般演題 3「難渋した症例」

座長：明楽重夫（明理会東京大和病院 産婦人科）

市川雅男（日本医科大学 千葉北総病院 女性診療科・産科）

03-1 術中膀胱鏡を行うことで、ロボット支援下仙骨腔固定術でのメッシュ固定糸による尿管通過障害を回避し得た一例

青山茉莉香（昭和大学横浜市北部病院 女性骨盤底センター）

03-2 子宮全摘術後の骨盤臓器脱に対して仙骨腔固定術を施行した9例の治療成績

吉田加奈子（徳島大学 産科婦人科）

03-3 S状結腸右側の開放が困難のため仙骨岬角左側にメッシュ固定し、ロボット仙骨腔固定術を遂行した2例

田邊康次郎（仙台医療センター 産婦人科）

03-4 NTR 後2年経過し、腔断端離開し、腔断端ヘルニアをきたした一例

今井 宗（長野市民病院）

03-5 ロボット支援下仙骨腔固定術後に眼窩内血腫を発症した1例

加羽澤梨紗子（上尾中央総合病院 泌尿器科）

03-6 腹腔鏡下仙骨腔固定術後に残存頸部感染をきたした一例

曾根原健太（佐久医療センター 婦人科）

03-7 腔閉鎖を併施した腔式子宮全摘術後に骨盤内膿瘍をきたした2症例

加藤順子（中濃厚生病院 産婦人科）

13:55 – 14:45 一般演題 4「POP手術のバージョンアップを目指して1」

座長：加藤稚佳子（第一東和会病院 産婦人科）

新村友季子（医療法人真栄会 にいむら病院 泌尿器科）

04-1 当院で行なっている腹腔鏡下仙骨腔固定術（LSC、RSC）でのメッシュ後腹膜化

林 篤正（亀田総合病院 ウロギネ・女性排尿機能センター）

04-2 腹腔鏡下仙骨腔固定術（LSC）の術後満足度を下げる要因とは何なのか？

林 篤正（亀田総合病院 ウロギネ・女性排尿機能センター）

04-3 仙骨腔固定術における膀胱腔間剥離を再考する

福本哲也（愛媛大学医学部 泌尿器科）

- 04-4 有効な骨盤臓器脱治療のための腹腔鏡下仙骨腔固定術のダイバーシティ
Ma Aneceta Dayo (亀田総合病院 ウロギネ・女性排尿機能センター)
- 04-5 当施設における LSC190 例の成績検討と手技の工夫
白根 晃 (練馬総合病院 産婦人科)
- 04-6 当院での RASC における安全性と再発率の検討
齋藤友充子 (京都府立医科大学 泌尿器科)

14:50 – 16:05 一般演題 5「POP 手術のバージョンアップを目指して 2」

座長：西尾幸浩 (大阪けいさつ病院 産婦人科)
三輪好生 (岐阜赤十字病院 泌尿器科)

- 05-1 腹腔鏡下仙骨腔固定術における岬角へのメッシュ固定への標準化の試み
野村昌良 (亀田総合病院 ウロギネ・女性排尿機能センター)
- 05-2 腹膜外アプローチによるロボット支援下仙骨腔固定術：DaVinci Xi vs SP
森山真吾 (上尾中央総合病院 泌尿器科)
- 05-3 骨盤臓器脱に対して助手ポートを排除したロボット支援腹腔鏡下仙骨腔固定術の
メリットとデメリット
Aria Prasetya (亀田総合病院 ウロギネ・女性排尿機能センター)
- 05-4 腹膜外アプローチによるロボット支援 Pectopexy の初期成績
片倉雅文 (上尾中央総合病院 産婦人科)
- 05-5 Laparoscopic lateral suspension の短期成績から骨盤臓器脱手術の在り方を考える
清水彩理 (産業医科大学若松病院 産婦人科)
- 05-6 再発腔脱に対して Laparoscopic Pectopexy を行った一例
森恵里沙 (練馬総合病院 産婦人科)
- 05-7 骨盤臓器脱に対する Laparoscopic pectopexy, Laparoscopic lateral suspension の比較
林 篤正 (亀田総合病院 ウロギネ・女性排尿機能センター)
- 05-8 CUSA を使用した岬角剥離の試み
松田琢磨 (カレス記念病院 女性診療科)
- 05-9 メッシュ手術後の再発骨盤臓器脱に LSC で対処して得られた教訓
藤井美穂 (カレス記念病院 女性診療科)

16:10 – 17:00 一般演題 6「手術適応」

座長：武井実根雄（原三信病院 泌尿器科）

吉村和晃（産業医科大学若松病院 産婦人科）

06-1 骨盤臓器脱を合併した子宮悪性腫瘍手術時に膣断端挙上術を併施した5症例の検討

鮫島浩輝（埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科）

06-2 腎移植患者に対し腹腔鏡下骨盤臓器脱手術を行った4症例

沢田勇吾（東京女子医科大学 泌尿器科）

06-3 開脚障害のある完全子宮脱に対して開腹によるNTR（Native tissue repair）を施行した1例

杉本 誠（国立病院機構 神戸医療センター 産婦人科）

06-4 高齢者に対する腹腔鏡下仙骨膣固定術（LSC）の安全性の検討

益子尚子（新百合ヶ丘総合病院 産婦人科）

06-5 腹部手術既往のある症例に対するロボット支援仙骨膣固定術

大槻英男（我孫子東邦病院 泌尿器科）

06-6 15年間のリングペッサリー治療後にロボット支援下仙骨膣固定術を施行した一例

吉越信一（富山県立中央病院 産婦人科）

1日目 4月12日(土)

ポスター展示

- P1 当施設における女性骨盤臓器脱診療センター設置前後での診療の変化について
楠木 楨 (熊本大学病院 女性骨盤臓器脱診療センター)
- P2 子宮全摘術後の腔断端脱・膀胱瘤・直腸瘤に対して仙骨腔固定術を施行した一例
今井 悠 (練馬総合病院 産婦人科)
- P3 当院における TVM 手術の初期経験
原田成美 (熊本大学病院 女性骨盤臓器脱診療センター)
- P4 当科における後期高齢者に対する骨盤臓器脱手術の術式選択
石塚貴紀 (沖縄県立中部病院 婦人科)
- P5 当院における仙骨腔固定術による下部尿路機能症状の変化について
横関仁志 (公立豊岡病院 泌尿器科)
- P6 子宮全摘術後の腹腔鏡下仙骨腔固定術において、ICG Washout 法を用いて膀胱損傷を免れた一例
青木志保 (越谷市立病院 産婦人科)

2日目 4月13日(日) カレス記念ホール(第1会場)

08:30 – 09:10 教育講演

座長：岡垣竜吾（練馬光が丘病院 産婦人科）

知ってるようで知らない骨盤底の解剖の話

室生 暁（東京科学大学 臨床解剖学分野）

09:15 – 10:15 基調講演「消化管外科からのメッセージ」

座長：加藤健宏（JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 外科）

直腸癌手術における機能温存を目指すうえで必要な骨盤内解剖

絹笠祐介（東京科学大学 消化管外科学分野）

直腸がん手術の基本的なコンセプト —適切なテンションと剥離層の選択—

花岡まりえ（東京科学大学 消化管外科学分野）

10:20 – 11:10 学会シンポジウム2「直腸脱」

座長：水谷 真（第一東和会病院 消化器外科）

S2-1 直腸脱に対する Laparoscopic (Robotic) Ventral Rectopexy

—安全かつ確実に行うために

加藤健宏（JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 外科）

S2-2 膀胱子宮脱と直腸脱の合併例に対し、ロボット支援腹腔鏡下仙骨腔固定術と
腹腔鏡下直腸固定術を同時施行した1例

井上高光（国際医療福祉大学成田病院 腎泌尿器外科）

S2-3 鎖肛術後の直腸脱に対する手術について

中山 洋（辻仲病院柏の葉 消化器外科）

S2-4 ロボット支援下直腸固定術および仙骨腔固定術により治療した膀胱瘤を伴う
再発性直腸脱の1例

森山郁美（東京女子医科大学 泌尿器科）

11:20 – 12:10 学会シンポジウム 3 「POP 手術の新しい工夫」

座長：石川哲也（昭和大学江東豊洲病院 産婦人科）

S3-1 腹腔鏡下仙骨腔固定術後の難治性腹圧性尿失禁に対する
腹腔鏡下メッシュアーム延長術の検討

荒木英盛（名鉄病院 泌尿器科）

S3-2 骨盤臓器脱に対する LSC/RASC 術後側方再発の予防を目的とした
拡大側方剥離の短期成績

三輪好生（岐阜赤十字病院 泌尿器科・ウロギネセンター）

S3-3 ロボット支援下仙骨腔固定術における前壁伸展例に対する工夫

小川一栄（上尾中央総合病院 泌尿器科）

S3-4 Laparoscopic lateral fixation の各新術式を当院の経験から考察する

平田 豪（横浜市立大学附属市民総合医療センター 婦人科）

12:30 – 13:30 ランチョンセミナー

座長：藤井美穂（カレス記念病院 女性診療科）

ライフワークは女性骨盤底・排尿診療

加藤久美子（名鉄病院 女性泌尿器科）

共催：クラウンジュン・コウノ

13:30 – 13:40 閉会の挨拶

2日目 4月13日(日) 会議室(第2会場)

08:30 - 09:30 LSC 講習会

座長：清水幸子（安房地域医療センター 婦人科）
鋏田知子（第一東和会病院 女性泌尿器科）

- ①講師 谷村 悟 LSC、RSCに必要な解剖
- ②講師 三輪好生 LSCの基本手技と注意点
- ③講師 野村昌良 RASCの基本手技と注意点
- ④講師 安倍弘和 LSC、RASCの合併症とその修復

09:35 - 10:15 一般演題7「TVM」

座長：野村由紀子（昭和大学 横浜市北部病院 産婦人科）
林 篤正（亀田総合病院 ウロギネ・女性排尿機能センター）

- 07-1 前腔壁下垂に対する PTFE mesh ORIHIME® を用いた腹腔鏡下仙骨腔固定術とメッシュ脚に barb を作成したアップホールド型 TVM の治療成績の比較
八木一暢（第一東和会病院 女性泌尿器科・ウロギネコロジーセンター）
- 07-2 TVM 術後の腹圧性尿失禁についての検討
～ uphold 型では prolift 型より術後 SUI が増加するのか？
柏原宏美（第一東和会病院 女性泌尿器科・ウロギネコロジーセンター）
- 07-3 当院における barb 型メッシュを用いた経腔メッシュ手術の短期成績
渡邊成樹（北彩都病院 泌尿器科）
- 07-4 メッシュ脚に Knot を用いた TVM-UPK の短期成績
鋏田知子（第一東和会病院 女性泌尿器科・ウロギネコロジーセンター）
- 07-5 当センターにおける PTFE メッシュを用いた Uphold 型 TVM の短中期成績
野村由紀子（昭和大学横浜市北部病院 女性骨盤底センター）

10:20 - 11:10 一般演題8「POP手術の評価」

座長：北川育秀（小松市民病院 泌尿器科）
黄 鼎文（つくばウロケアクリニック）

- 08-1 骨盤臓器脱に対する術式別治療成績
山崎真理（KKR 高松病院 泌尿器科）

- 08-2 腹腔鏡下仙骨腔固定術に対する2種類のメッシュ、politetrafluoroethylene
メッシュと polypropylene メッシュ間のランダム化比較試験
土井有紀子（第一東和会病院）
- 08-3 進行性骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨子宮固定術と腹腔鏡下仙骨腔固定術/
子宮腔上部切断術の複合再発の比較：後ろ向きコホート研究
佐藤広高（北水会記念病院 泌尿器科）
- 08-4 当院における骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨腔固定術及び
ロボット支援腹腔鏡下仙骨腔固定術の成績
藤崎佳乃（日本生命病院 産婦人科）
- 08-5 当センターの Manchester 手術の工夫
岡田義之（昭和大学横浜市北部病院 女性骨盤底センター）
- 08-6 腹部手術歴を有する患者におけるロボット支援腹仙骨腔固定術の検討
吉尾裕子（社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院）

11:15 – 11:50 一般演題9「直腸脱」

座長：佐伯佳央里（松山市民病院 泌尿器科）
鈴木伸明（カレス記念病院 消化器外科）

- 09-1 腹腔鏡下直腸前方固定術（LVR）と腹腔鏡下直腸前方固定術＋
仙骨腔固定術（LVR＋LSC）における直腸脱再発率の比較
鈴木優之（辻仲病院柏の葉 前田病院）
- 09-2 直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の手技の変遷と成績
鈴木伸明（カレス記念病院 消化器外科）
- 09-3 超高齢者の完全直腸脱を伴った骨盤臓器脱に対して、腹腔鏡下仙骨腔固定術および
直腸固定術を行った一例
佐伯佳央里（松山市民病院 泌尿器科）
- 09-4 直腸脱患者の疾患及び患者背景に留意した当院の直腸脱手術治療戦略
岡本 亮（医療法人信和会明和病院 外科）

eterno[®]
ORIHIME[®]
PTFE Mesh



フィット感、
強度にこだわった、
日本製のメッシュ

クラウンジュンメッシュ / 承認番号：20400BZZ00687000

アスフレックス
ASFLEX

ポリビニリデンフルオライド
合成非吸収性縫合糸

最適のテーパーレシオと特殊研磨、特殊コーティングが生み出す理想の切れ味
PVDF は従来のポリプロピレンに比べ長期的に不活性

PVDF 縫合糸 - K / 承認番号：21300BZZ00389000



Suture for
POP surgery

テフデッサーII
TEFDESSER II

PTFE コーティングポリエステル
合成非吸収性縫合糸

優れた抗張力と不活性特性を持つポリエステル編み糸
異形線の原因糸が生み出す、緩みない確実な結紮

polyester 縫合糸 - K / 承認番号：16100BZZ00938000

多様なサイズラインアップをご用意しています。まずはお気軽にお問い合わせください





株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

Medical Support Service Provider

生命と健康への貢献

「医師、医療スタッフとともに人々の生命と健康を守る」

という創業以来の使命感のもと

社会貢献度の高い仕事と誇りを持ち、日々努力を続けております。



血液浄化

低侵襲機器

内視鏡

整形外科

「専門領域に特化した支援・サポート」

眼科

ニーズにお応えするため、それぞれの診療・治療に特化した専門担当部門を設けています。

脳神経外科

テクニカルサポート

循環器

循環器外科

画像診断機器

RTK 株式会社 竹山

代表取締役社長 土田 拓也

本社 / 〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5

●ほくたけメディカルトレーニングセンター「ヴィレッジプラス」/札幌市中央区北11条西14丁目1番1号(ほくやくビル4F)・☎011-700-5833 <https://www.takeyama.co.jp/villageplus/>

充実した拠点網によるきめ細やかな営業体制

| | | | |
|--------|-------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 札幌圏 | 中央支店: ☎011-859-8714 | 北支店: ☎011-789-1020 | 新札幌支店: ☎011-859-8717 |
| | 北大支店: ☎011-859-8712 | 札幌医大支店: ☎011-859-8713 | 西支店: ☎011-668-2526 |
| | 札幌業務センター: ☎011-859-8711 | HubiA物流センター: ☎011-676-6263 | 札幌DJSステーション: ☎011-859-8722 |
| 道央・道南圏 | 室蘭支店: ☎0143-45-1221 | 苫小牧支店: ☎0144-53-2101 | 小樽支店: ☎0134-29-4524 |
| | 岩見沢支店: ☎0126-25-6992 | 函館支店: ☎0138-83-5000 | |
| 道東・道北圏 | 釧路支店: ☎0154-25-2241 | 北見支店: ☎0157-31-3224 | 帯広支店: ☎0155-35-5800 |
| | 旭川支店: ☎0166-73-3011 | 旭川医大支店: ☎0166-73-3011 | 旭川業務センター: ☎0166-73-3011 |
| | 空知支店: ☎0125-74-6005 | 道北支店: ☎01654-3-9955 | |
| | 東京支店: ☎03-3814-0103 | 横浜営業所: ☎045-232-3310 | |

☎011-611-0100(代表) <https://www.takeyama.co.jp>

GnRHアンタゴニスト
 劇薬 処方箋医薬品^注

レルミナ[®]錠 40mg

RELUMINA[®] Tablets 40mg (レルゴリクス) 薬価基準収載

注)注意-医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

製造販売元[文献請求先及び問い合わせ先]
あすか製薬株式会社
 東京都港区芝浦二丁目5番1号

販売元
武田薬品工業株式会社
 大阪市中央区道修町四丁目1番1号

2023年4月作成

まだないくすりを
 創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

明日は変えられる。  **astellas**
 アステラス製薬株式会社

www.astellas.com/jp/



患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 間欠泌尿器用カテーテル 36125000

医療機器認証番号：303AABZX00060000

アクトリーン Actreen®

アクトリーン ハイライト カテ(ネラトン・チーマン)

カテーテル長：367mm



ネラトン型 外径(CH)：8,10,12,14,16

チーマン型 外径(CH)：10,12,14,16



アクトリーン ハイライト セット(ネラトン)

カテーテル長：367mm
採尿バッグ付き：1000mL



ネラトン型 外径(CH)：10,12,14,16



アクトリーン ミニ カテ

カテーテル長：90mm
外径(CH)：10,12,14



アクトリーン ミニ セット

カテーテル長：90mm
採尿バッグ付き：700mL
外径(CH)：10,12,14



◆本製品の取扱いについては電子添文および取扱説明書をご参照ください。

BRAUN
SHARING EXPERTISE

製造販売元
ビー・ブラウンエースクラップ株式会社
東京都文京区本郷2丁目38-16



発売元
株式会社大塚製薬工場
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115

販売提携
大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

お問い合わせ先
株式会社大塚製薬工場 輸液Dセンター
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2

<'22.04作成>

Seorafilm
ADHESION BARRIER

承認番号20900BZY00790000

高度管理医療機器 保険適用



癒着防止吸収性バリア

セソラフィルム®

ヒアルロン酸ナトリウム/カルボキシメチルセルロース癒着防止吸収性バリア

- 禁忌・禁止を含む使用上の注意等については電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入) **バクスター・ジャパン株式会社**
東京都港区芝浦三丁目4番1号グランパークタワー30階

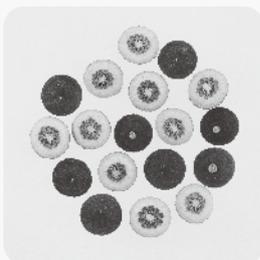
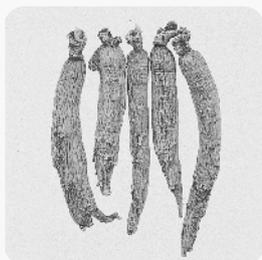
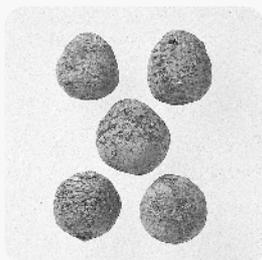
発売元
文献請求先
及び問い合わせ先



科研製薬株式会社

〒113-8650 東京都文京区本駒込二丁目28番8号
医薬品情報サービス室

JP-AS30-220198 V3.0
SPF08CP (2024年1月作成)



生薬には、
個性がある。



漢方製剤にとって「良質」とは何か。その答えのひとつが「均質」である、とツムラは考えます。自然由来がゆえに、ひとつひとつに個性がある生薬。漢方製剤にとって、その成分のばらつきを抑え、一定に保つことが「良質」である。そう考える私たちは、栽培から製造にいたるすべてのプロセスで、自然由来の成分のばらつきを抑える技術を追求。これからもあるべき「ツムラ品質」を進化させ続けます。現代を生きる人々の健やかな毎日のために。自然と健康を科学する、漢方のツムラです。

良質。均質。ツムラ品質。



株式会社ツムラ <https://www.tsumura.co.jp/> 資料請求・お問合せは、お客様相談窓口まで。

医療関係者の皆様 tel.0120-329-970 患者様・一般のお客様 tel.0120-329-930 受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日は除く)

2021年4月制作 (審)

TERUMO

スプレーなら、狙いやすい

癒着防止吸収性バリア

Ad Spray

一般的名称:癒着防止吸収性バリア 販売名:アドスプレー 医療機器承認番号:22800BZX00234

製造販売業者 テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 www.terumo.co.jp

TERUMO、Ad Sprayはテルモ株式会社の商標です。
テルモ、アドスプレーはテルモ株式会社の登録商標です。
©テルモ株式会社 2016年5月

新発売

月経困難症治療剤

アリッサ[®]配合錠

alyssa[®] combination tablets

エストロロール・ドロスピレノン錠
処方箋医薬品[※] 注)注意—医師等の処方箋により使用すること

「効能又は効果」「用法及び用量」
「禁忌を含む注意事項等情報」等
につきましては、電子化された
添付文書等をご参照ください。



製造販売元、文献請求先及び問い合わせ先
富士製薬工業株式会社
富山県富山市水橋辻ヶ堂1515番地
TEL.0120-956-792 (くすり相談室)

電子添文確認用



(01)14987431120039

2024年12月作成

新しい生きるを、創る。

A new way of life

独自技術で難病に挑み、ひとりの「生きる」に希望をとどける。

ユニークな機能性食品で、みんなの「生きる」を健やかにする。

京都から世界へ。

新しい時代の、新しい生きるを、

わたしたちは、創っていく。



 日本新薬
NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

北海道  医師会

 **HOKKAIDO**
[career Support] 

医師キャリアサポート相談窓口

就業・復職



セカンドキャリア



ドクターの人生に寄り添い、
希望にかなう働き方を全力応援！

育児



介護



北海道医師会 医師キャリアサポート相談窓口 北海道中央区大通西6丁目 北海道医師会館

 **0120-112-500**
(受付時間 月～金 9:00～17:00) FAX. 011-231-7272

詳しくは専用ホームページをご覧ください

<http://www.hokkaido.med.or.jp/josei-dr-shien/> 





植物デンプン由来の吸収性局所止血材が
外科手術をサポートします。

デンプン由来吸収性局所止血材
バード アリスタ® AH

承認番号:22600BZX00455000
クラス分類:高度管理医療機器(クラスIV)
一般的名称:吸収性局所止血材
償還区分:デンプン由来吸収性局所止血材
(本体アプリーケータのみ)



製品に関する
お問い合わせは
こちらから



・事前に必ず電子添文(注意事項等情報)を読み、本製品の使用目的、禁忌・禁止、警告、使用上の注意等を守り、使用方法に従って正しくご使用ください。
・本製品の電子添文は独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)のホームページで閲覧できます。

製造販売元
株式会社メディコン
カスタマーサービス www.bdj.co.jp/s/cs/

bd.com/jp/

BD, the BD Logo, Arista are trademarks of Becton,
Dickinson and Company or its affiliates. ©2024 BD. All rights reserved.
2024年1月作成

